

✧ 熱性けいれん(ひきつけ) ✧

熱が出たときに、けいれんがおきるもので、通常は 1~2 分で止まります。1 回だけのことが多いですが、時にくりかえす子もいます。その場合には痙攣予防の座薬を使います。

けいれんがおきた時の対処法

あわてずに静かに寝かせてください。吐いてしまったら、顔を横に向けて吐いたものがのどにつまらないようにします。

けいれん時に舌を噛むのを心配して口の中に物や指をいれると、窒息の原因になったり、指を噛まれてしまうためしないで下さい。

余裕がある場合にはできるだけけいれんの様子を観察して下さい。

- ① 何分くらいか
- ② 手足はつっぱっているか、がくがくしているか。左側と右側で違いはあるか。
- ③ 目は上をじっとみているか？どっちかに寄っているか？
これらは診断の上で役立つことがあります。

解熱剤はけいれん予防にはなりません。

けいれんを 2 回以上繰り返した場合は予防用の座薬(ダイアップ)がありますのでそれを 37.5℃以上になったときに使います。

けいれんが 1~2 分で止まってすぐに意識が戻る場合には救急車を呼ぶ必要はありません。小児科を早めに受診して下さい。

(夜間であれば翌日の外来受診)

救急車を呼ぶ目安

けいれんが 10 分以上続くとき・けいれんが止まっても意識が戻らないとき